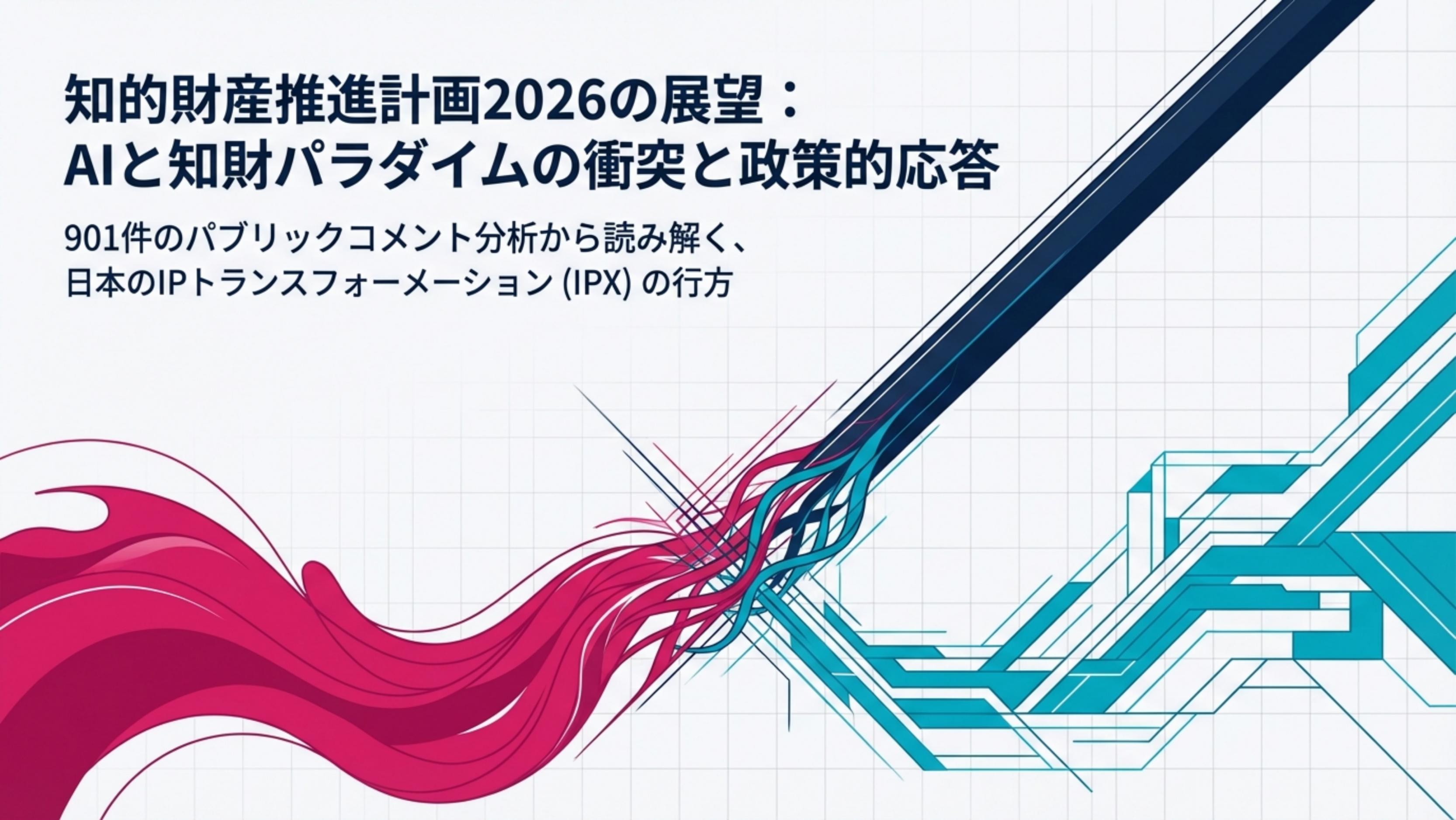


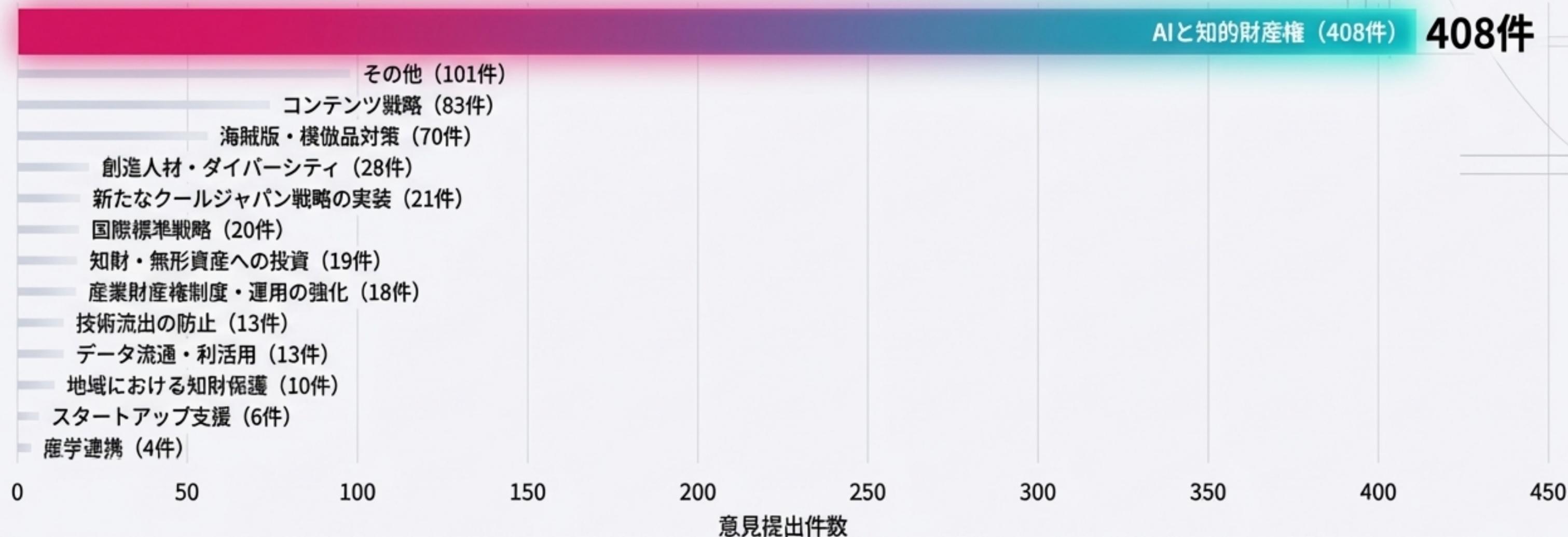
# 知的財産推進計画2026の展望： AIと知財パラダイムの衝突と政策的応答

901件のパブリックコメント分析から読み解く、  
日本のIPトランスフォーメーション (IPX) の行方



# 意見提出の約半数が 「AIと知的財産権」に集中

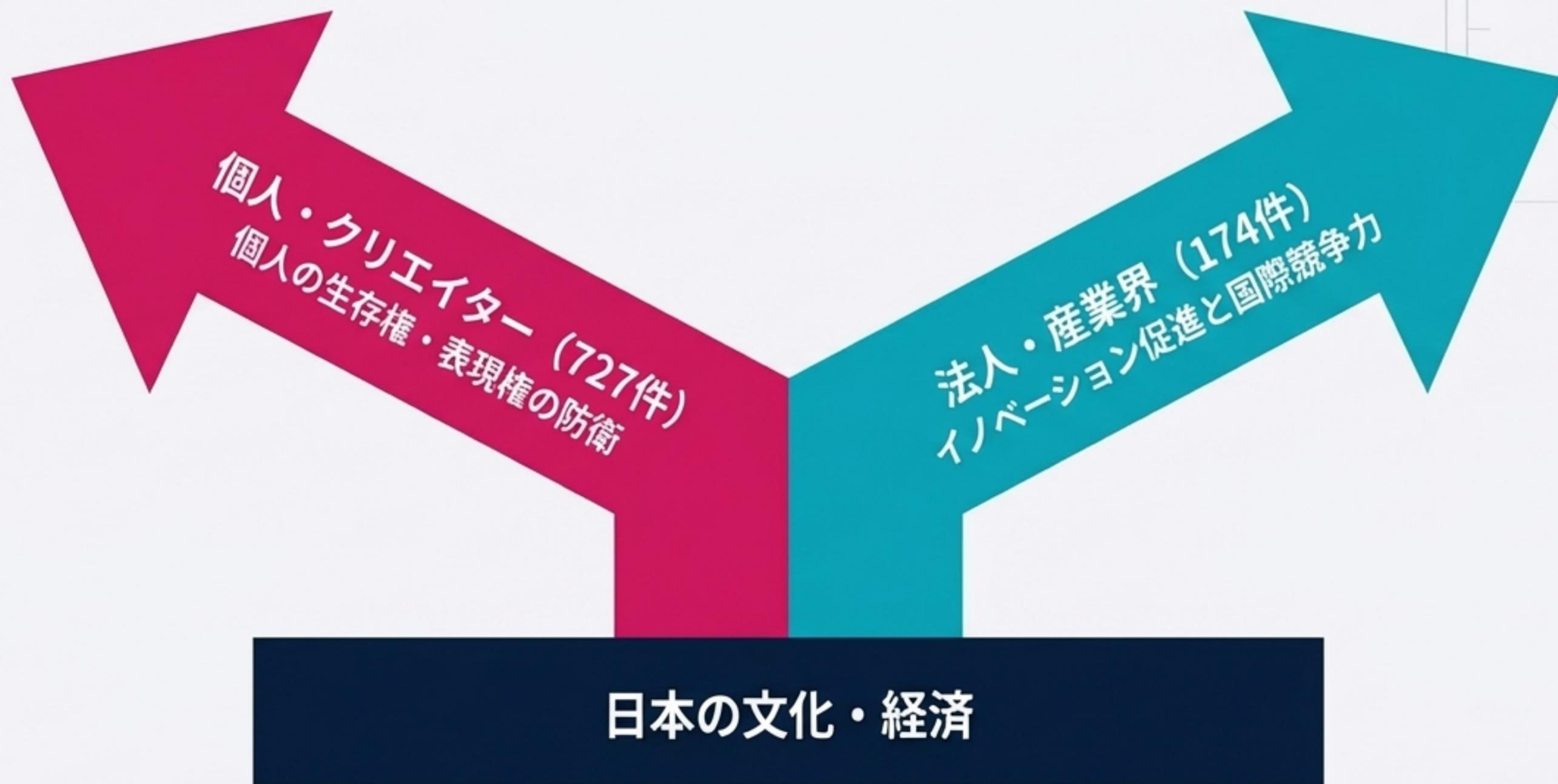
産学連携やスタートアップ支援といった伝統的テーマが霞むほど、『AIと知財のコンフリクト（45.3%）』が国家レベルの緊急課題として突出している。



「知的財産推進計画2026」に向けた意見募集（全901件）の分野別内訳。AI領域に対するクリエイターや産業界の強い懸念と関心が浮き彫りとなっている。

Data source: 内閣府 知的財産戦略本部 2026 論点 意見募集

# 構造的対立：生存権的危惧 vs マクロな経済合理性



# クリエイターの危惧：アイデンティティの収奪と文化の形骸化



## 無断学習と不透明性

著作権法第30条の4への不満。  
海賊版混入による「権利ロンダリング」の疑念。



## オプトアウトのパラドックス

対価還元（金銭）ではなく、人格的利益を守るための  
「学習拒否権」そのものの要求。



## 文化のデフレと次世代の枯渇

粗悪なAI生成物による市場破壊。  
修練回避による「人間への投資」の枯渇リスク。

# 産業界の要請：AIガバナンスとイノベーションの調和

## 営業秘密の保護

データセットへの強制アクセスは、巨額投資の毀損とサイバー攻撃のリスクを招く。



## トランザクションコストの壁

第30条の4の維持。個別許諾の義務化は、メガテックによる開発独占を招く。

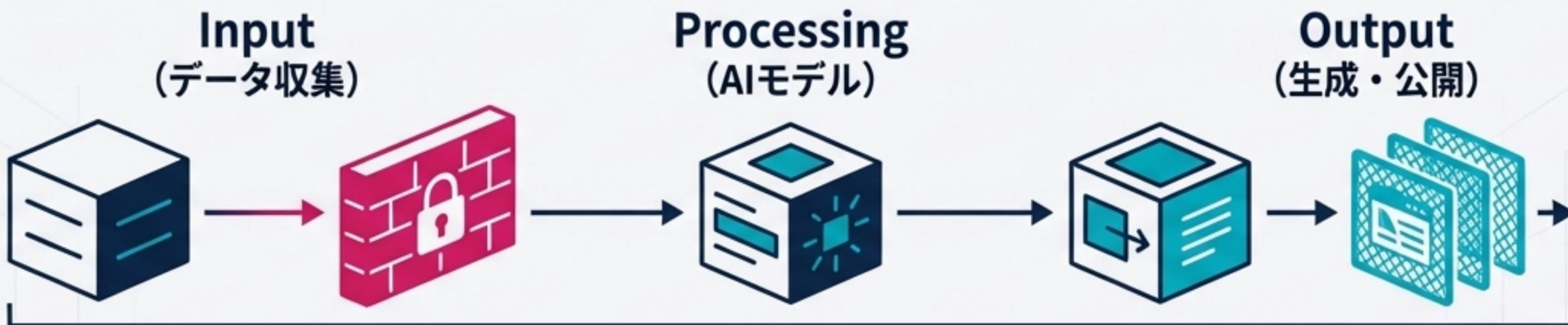


## ソブリンAIとDFFTの推進

デジタル赤字と文化的バイアスを防ぐための、国産基盤モデルとデータ流通網の死守。



# アプローチの衝突：入力規制 vs 出力規制



共通目的：違法情報の防止

## アプローチA：入力規制重視

特徴：学習・収集の一律禁止（オプトイン）

リスク：公益データの活用まで萎縮する  
オーバーブロッキング

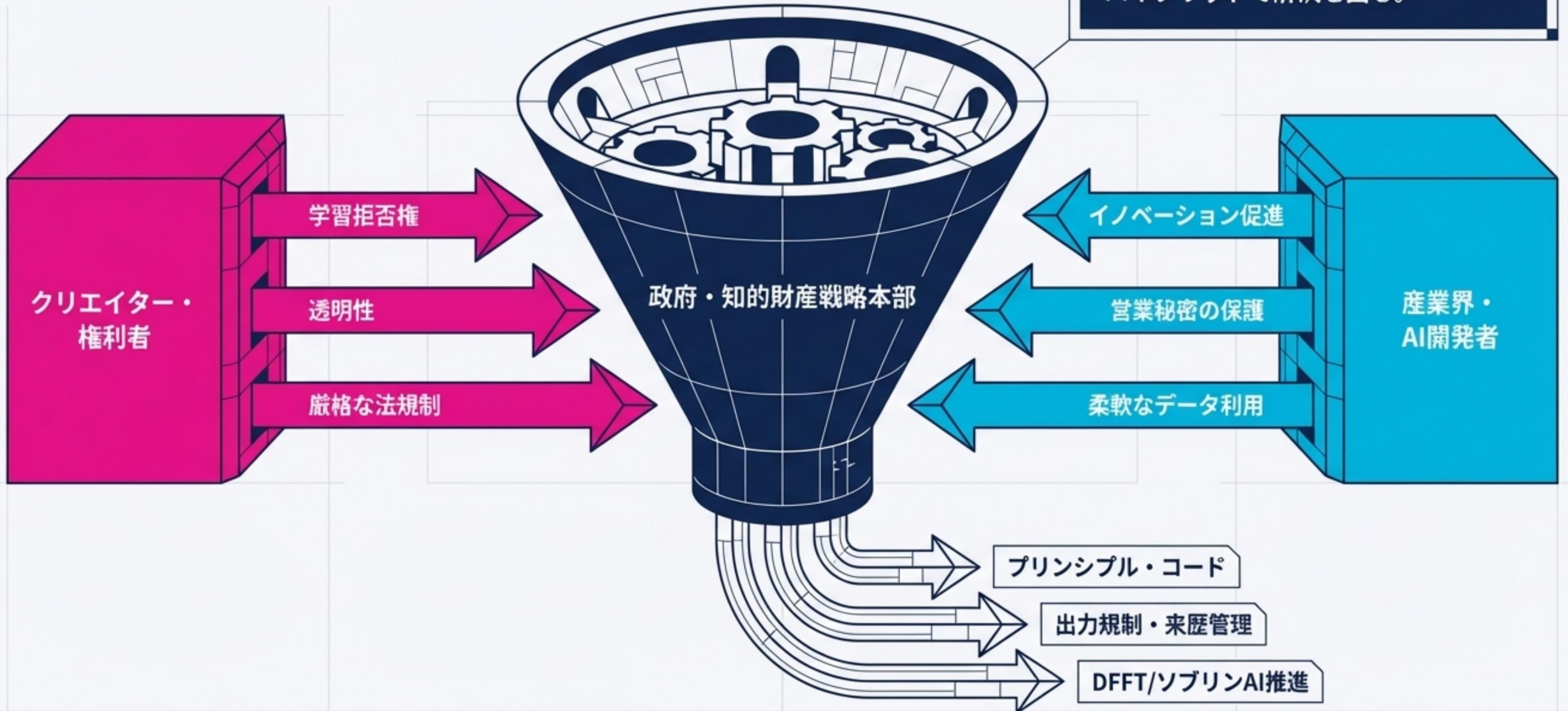
## アプローチB：出力規制重視

特徴：生成時の技術的ブロック、多層防御

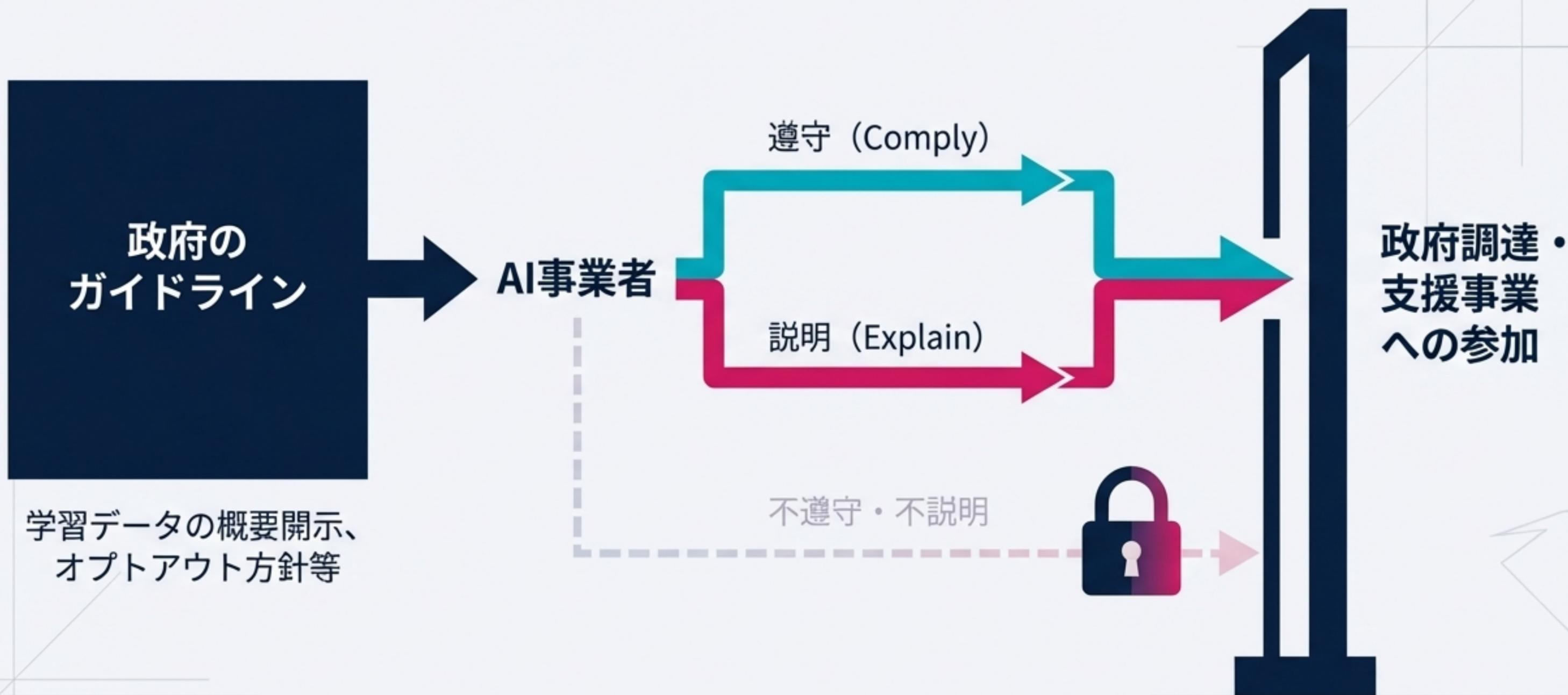
利点：イノベーションと社会防衛の現実的  
両立

# 政策的調停のアーキテクチャ

政府はハードロー（法規制）の即時導入を避け、「技術」と「ソフトロー」のハイブリッドで解決を図る。



# 解決策1：「プリンシプル・コード」の実装



## 解決策2：「多層的防衛」へのパラダイムシフト

### Layer 3: 責任分界モデル

提供者・開発者・利用者の間で法的責任を切り分けるガードレール。

### Layer 2: フィルタリング

出力段階での類似性検知・ブロック機構。

### Layer 1: 来歴管理

ウォーターマーク（電子透かし）とメタデータによる出自の透明化。

AI生成物

# The Parallel Crisis: 8.5兆円 of piracy damage and AI's demonic fusion

# 8.5兆円

海賊版サイトが単なるただ読みの場から、生成AIの「権利ロンダリングの温床（学習用餌場）」へと変貌している。



海賊版サイト

ドメインホッピング・防弾ホスティング



AI基盤モデル

# 海賊版・模倣品対策：三正面作戦の展開



## 法執行の国際化

INTERPOL連携、ICANNへのドメイン登録時本人確認要求。



## Follow the Money

広告収益と決済代行への徹底的な規制。侵害者の資金源を絶つ。



## 正規版への転換（UX改善）

同時配信、高品質ローカライズ、多様な決済手段。摩擦を排除し「選ばれる正規版」を作る。

# 国際競争力のインフラ強化：ルールメイキングの主導権

## 中小企業の包摂

資金不足の中小企業をISO/ITU等の国際標準化会議へ参画させる支援メカニズム。

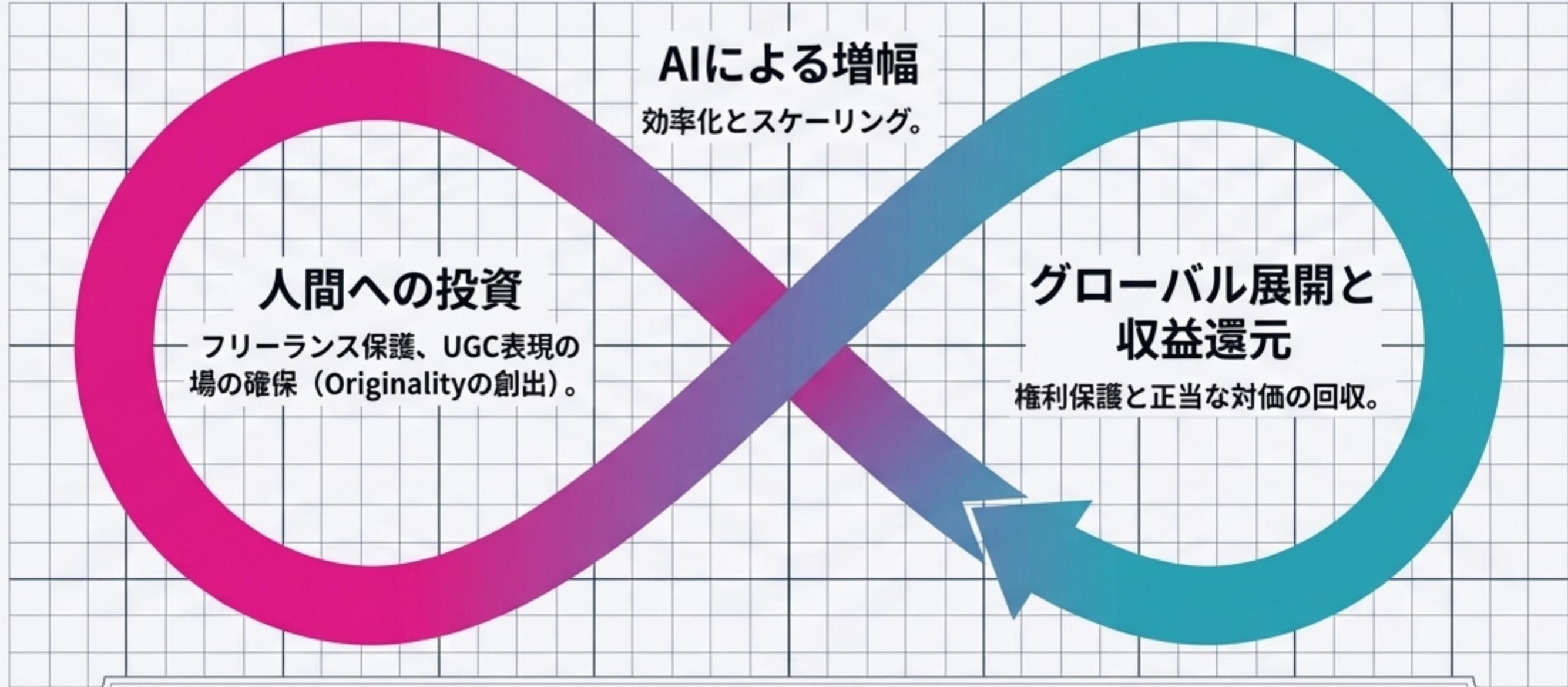
## SEP戦略

IoT時代の競争ルールを握る「標準必須特許 (SEP)」の国家戦略化とライセンス商慣習の確立。

## 医薬品データ保護

イノベーション促進のための独立したデータ保護制度の法制化。

# 結論：真のIPトランスフォーメーション（IPX）へ



AIの魔法への過度な期待や無秩序な恐れから脱却し、ルールと倫理のインフラを構築する。それが真のIPXの実現である。